

埼 玉 県 歌

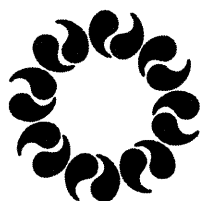
岸上のぶを 作詞
神保光太郎 補作
明本 京静 作曲

- | | |
|---|--|
| <p>1 秩父の雲の むらさきに
風もみどりの むさし野よ
恵み豊かな この山河
われら 生まれて ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉</p> | <p>3 日に日に進む 産業に
こぞるちからも たくましく
希望はもえる このあした
われら 明るく ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉</p> |
| <p>2 古き伝統 新しき
生命をこめて しあわせの
未来をひらく この文化
われら つどいて ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉</p> | <p>4 北に大利根 荒川は
南をめぐり 人和して
県旗はまがたま この理想
われら ちかって ここにあり
おお 埼玉 埼玉 輝く埼玉</p> |

埼玉県のシンボル

県の愛称「彩の国」「彩」は、いろどりや美しさを表す言葉で、四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術などさまざまな分野で発展する多彩な国、埼玉県を表現している。(平成4年11月14日選定)

県章



まが玉 16 個を円形に並べたもの。埼玉県名由来の一つとされる「幸魂(さきみたま)」の「魂」は、「玉」の意味でもあり、まが玉は、埼玉県にゆかりの深いものとなっている。また、まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表している。(昭和39年9月1日制定)

彩の国

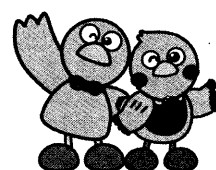
キャンペーンマーク



愛称「彩の国」の一層の普及を図るため3人が手を取り、肩を組み合わせ、楽しく元気に前へ進もうとしているイメージを表現している。「夢がいっぱい=ブルー」、「元気がいっぱい=レッド」、「自然がいっぱい=グリーン」を表している。(平成5年11月14日に選定)

埼玉県のマスコット

「コバトン」&「さいたまっち」



「コバトン」は県の鳥であるシラコバトをモチーフに、2004年に埼玉県で開催された彩の国まごころ国体の大会マスコットとして登場した。「シラコバト」と「バトン」で「コバトン」。2005年1月4日より県のマスコットとなった。「さいたまっち」は「コバトン」誕生から15年目「コバトン」と共に埼玉県を盛り上げるキャラとして開発。(2014年11月14日に誕生)

そのほか、県の花「サクラソウ」・県の木「ケヤキ」・県民の鳥「シラコバト」・県の魚「ムサシトミヨ」・県の蝶「ミドリシジミ」

出典：埼玉県ホームページより

○ 講 演 会 (15:15~16:25)

演 題 『来るべき未来のデジタル社会にむけて』

講 師 中 山 五輪男 氏 (富士通理事・首席エバンジェリスト)

来 賓 芳 名

埼玉県知事	大野元裕様
埼玉県議会議長	木下高志様
埼玉県教育委員会教育長	高田直芳様
さいたま市教育委員会教育長	細田眞由美様
全国連合退職校長会会長	入子祐三様
羽生市長	河田晃明様
羽生市教育委員会教育長	秋本文子様
埼玉県市町村教育委員会連合会会長	岡崎吉宏様
埼玉県都市教育長協議会会長	小柳光春様
埼玉県町村教育長会会長	小林和夫様
埼玉県教育局市町村支援部部長	石井宏明様
埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課長	阿部仁様
埼玉県教育局東部教育事務所長	中西健二様
埼玉県公立小学校校長会会長	吉田賢司様
埼玉県中学校長会会長	吉野雅彦様
埼玉県高等学校長協会会長	坂上節様
顧問	栗原喜一郎様
顧問	清水章夫様

慶 祝 叙 勲

(敬称略)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度高齢者叙勲 (50名)

浦 和	池照マサ子 氏	大 宮	中村 正男 氏	大 宮	小川 昌雄 氏
大 宮	齋藤 和男 氏	大 宮	大澤 佑孔 氏	川 口(故)	工藤 勘吾 氏
川 口	小川吉之丞 氏	川 口(故)	山田 増一 氏	川 口	河野 幹司 氏
川 口	佐藤 英雄 氏	川 口	毒島 福夫 氏	朝 霞	萩原 教生 氏
上 尾	小高 博 氏	鴻 巣	小川 武雄 氏	鴻 巣	森田 一 氏
川 越	矢島 章伍 氏	川 越	江原 襄 氏	川 越	金子 勇二 氏
川 越	金子 隆治 氏	狭 山	新藤 宜子 氏	越 生	平沼 要 氏
毛呂山	奥隅 英夫 氏	鶴ヶ島	岸田 稔 氏	入間東部	熊谷 高三 氏
東松山	柳澤 功 氏	東松山	横田 隆史 氏	東松山	栗田 秀夫 氏
東松山	松林 了 氏	小 川	山下 勝三 氏	秩 父	豊田 武夫 氏
秩 父	若林 和男 氏	本庄児玉	小高 輝雄 氏	熊 谷	栗原 保夫 氏
熊 谷	並木 茂 氏	深 谷	青木 満守 氏	深 谷	瀬下 裕仁 氏
深 谷	圓岡 茂夫 氏	羽 生	松本 寅男 氏	羽 生	五月女庄太郎 氏
加 須	蓮見 房吉 氏	加 須	関口 正夫 氏	加 須	遠井 利夫 氏
久 喜	針ヶ谷安雄 氏	久 喜	野口 弘夫 氏	久 喜	長谷川 威 氏
久 喜	鈴木 秀夫 氏	久 喜	上岡 寛 氏	久 喜	坂井 敏子 氏
蓮 田	斎藤 善雄 氏	三 郷	清水 久 氏		

令和2年秋叙勲 (8名)

川 口	大沢 春樹 氏	鴻 巣	高橋 俊男 氏	日 高	鯉沼 文夫 氏
日 高	山浦 秀男 氏	秩 父	久保忠太郎 氏	上 里	下山 彰夫 氏
上 里	安藤 寛和 氏	春日部	岩崎 明良 氏		

令和3年春叙勲 (7名)

大 宮	上村 忠男 氏	川 口	小林 博武 氏	所 沢	長岡 行男 氏
嵐 山	船戸 裕行 氏	本庄児玉	江森 吉博 氏	加 須	吉羽 秀男 氏
久 喜	桐川 弘子 氏				

(市町村等名称は班名)

令和2年度事業報告

活 動 の 重 点

- 1 組織の拡充並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、定年退職校長の全員加入を目指した勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

事 業 の 概 要

- 1 会議
 - (1) 定期総会 書面議決（講演会・美術展は中止）
【6月5日（金）熊谷市・熊谷文化創造館】
 - (2) 支部総会 5月 10支部とも中止
 - (3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミセン
 - (4) 支部長会 2回 5月（書面議決）・9月・3月 さいたま市・浦和コミセン
 - (5) 総会実施委員会 1回 5月（中止～熊谷市） 12月 羽生市・ワークヒルズ羽生
 - (6) 監査会 1回 4月
 - (7) 幹事会 随時
- 2 専門部の活動
 - (1) 研究調査部会 2回とも中止 校長退職時の再就職・待遇に関する実態調査等
 - (2) 福利厚生部会 1回 退職校長会入会案内の作成・配布
年金問題等の検討、囲碁・ゴルフ大会の開催等
 - (3) 広報部会 2回とも中止 会報の企画・発行、配布（年3回）、HPの充実
ニュースレターの発行（年2回）、全連退会報配布
 - (4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議長・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関プロ栃木大会参加（中止） 10月29日・30日 宇都宮市
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会
10支部（10月～11月）とも中止・資料作成配布
- 6 現・退校長会役員研究協議会 1回（12月～中止）現職小・中校長会役員との研究協議会（資料配布）
- 7 長寿会員祝賀 随時 ◇上寿（百歳）：寿詞記念品贈呈 該当誕生日
2回 ◇米寿：寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載
◇傘寿：会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会（書面議決）要項に記載
- 9 物故会員弔慰 供………香料・弔辞（92名、令和3年3月31日現在）

令和2年度 収入・支出決算報告

◇収入の部

令和3年3月31日現在 (単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	決算額 (B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 費	8,307,500	8,287,500	△ 20,000	2,500円×3,315人
2 雑 収 入	30	8,845	8,815	会議室キャンセル返金+利息25
3 繰 越 金	933,935	933,935	0	
計	9,241,465	9,230,280	△ 11,185	

◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	決算額 (B)	比較増減(B-A)	付 記
1 会 議 費	1,570,000	419,442	△ 1,150,558	
(1) 総 会 費	950,000	251,869	△ 698,131	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	620,000	167,573	△ 452,427	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	764,000	643,508	△ 120,492	
(1) 通信・運搬費	280,000	261,089	△ 18,911	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	270,000	173,141	△ 96,859	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	184,000	170,500	△ 13,500	手当、謝礼
(4) 事務所費	30,000	38,778	8,778	事務所諸費
3 事 業 費	3,346,900	2,955,060	△ 391,840	
(1) 会報発行費	940,000	799,792	△ 140,208	会報印刷代、原稿依頼等
(2) 美術展費	90,000	0	△ 90,000	搬出入費、会場費等
(3) 研修費	996,900	1,687,300	690,400	※詳細は下欄 参照
(4) 教育推進費	120,000	0	△ 120,000	支部別推進協議会・総会等 (中止)
(5) 講演会費	500,000	0	△ 500,000	講師謝礼、食料費等 (中止)
(6) 旅 費	700,000	467,968	△ 232,032	事業旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,561,200	1,480,000	△ 81,200	
(1) 全連退負担金	1,501,200	1,480,000	△ 21,200	400円×3,700人 (長寿会員を含む)
(2) 関プロ負担金	60,000	0	△ 60,000	参加費 (25,000×3) 大会 (中止)
5 特別積立金	300,000	300,000	0	新会員名簿等
6 慶 弔 費	1,200,000	940,000	△ 260,000	米寿 (寿詞)、香典
7 関プロ大会準備	300,000	300,000	0	関プロ埼玉大会準備金積立金
8 予 備 費	199,365	248,000	48,635	家賃1か月 22,000円。7月～令3年3月分
計	9,241,465	7,286,010	△ 1,955,455	

※コロナ禍により返金。1人200円。但し、大里地区のみ、総会中止のため、総会準備補助としてプラス100円

◇差引残高 9,230,280 - 7,286,010 = 1,944,270 円

◎特別積立金現在高

積 立 高		支 出 高	
前年度末現在高	646,913	退任役員記念品代	130,000
利 息	12	会員名簿 (全体用)	62,040
本年度積立金	300,000	会員名簿 (役員用)	31,900
関プロ大会準備金	300,000	新入会員名簿 (印刷・送料)	22,000
計	1,246,925	計	245,940

◇差引現在高 1,246,925 - 245,940 = 1,000,985 円

上記の通り報告します。

令和3年3月31日

埼玉県退職校長会会長

石 田 孝 作

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

令和3年4月7日

監 事

村 本 洋

大 嶋 伸 之

山 口 喜 一 郎

令和3年度事業計画

活動の重点

※ 新型コロナウイルスの感染防止対策を十分図り

- 1 組織活動の充実並びに会員の親睦と福祉の増進を図る。
- 2 教育行政機関・現職校長会及び教育諸団体との連携を密にし、県教育の振興に寄与する。
- 3 学校支援、社会奉仕活動に積極的に参加し、生涯学習活動の活性化に寄与する。
- 4 「彩の国教育の日」に関わる諸活動の充実について積極的に支援する。
- 5 「入会の案内」、「会報」、「ホームページ」等を活用してきめ細かな広報活動を展開し、定年退職校長の全員加入を目指した勧誘に努める。
- 6 本部と支部との連携をいっそう緊密にするとともに、専門部活動の充実に努める。

事業の概要

- 1 会 議
 - (1) 定期総会 1回 6月4日(金) 羽生市・羽生市産業文化ホール(大ホール)
講演会併催
 - (2) 支部総会 5月 10支部 10会場
 - (3) 理事会 2回 10月・3月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
 - (4) 支部長会 3回 5月・9月・2月 さいたま市・浦和コミュニティセンター
 - (5) 総会実施委員会 2回 5月 羽生市・羽生市産業文化ホール 12月 南部・「川口市」
 - (6) 監査会 1回 4月
 - (7) 幹事会 随時
- 2 専門部の活動
 - (1) 研究調査部会 2回 校長退職時の再就職・待遇に関する実態調査等
 - (2) 福利厚生部会 2回 退職校長会入会案内の作成・配布、新会員名簿の作成
年金問題等の検討、囲碁・ゴルフ大会等の開催
 - (3) 広報部会 2回 会報の企画・発行、配布(年3回)、ホームページの充実
ニュースレターの発行(年2回)、全連退会報配布(年4回)
 - (4) 庶務会計部会 1回 会費納入、会員数の確認、経理上の情報交換等
- 3 要望書提出 9月 県知事・県議会議長・県教育委員会教育長宛、等
- 4 関ブロ長野大会参加 10月14日・15日 松本市・「アルピコプラザホテル」
- 5 「彩の国教育の日」協賛、現職・退職校長支部別教育推進協議会
10支部 10月～11月 教育事務所・現職校長・会員 等
- 6 現・退職会長役員研究協議会 1回 12月 現職小・中校長会役員との研究協議会
- 7 長寿会員祝賀 随時 ◇上寿(百歳): 寿詞記念品贈呈 該当誕生日
2回 ◇米寿: 寿詞贈呈…春季・秋季理事会、会報に記載
◇傘寿: 会報に記載
- 8 栄誉会員の顕彰 6月 定期総会時
- 9 物故会員弔慰 供……………香料・弔辞

令和3年度 収入・支出予算書

◇収入の部

(単位 円、△印 減)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 費	8,300,000	8,307,500	△ 7,500	2,500円×3,320人
2 雑 収 入	30	30	0	預金利子
3 繰 越 金	1,944,270	933,935	1,010,335	
計	10,244,300	9,241,465	1,002,835	

◇支出の部

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較増減(A - B)	付 記
1 会 議 費	1,300,000	1,570,000	△ 270,000	
(1) 総 会 費	700,000	950,000	△ 250,000	代議員旅費、印刷費、諸費等
(2) その他の会議費	600,000	620,000	△ 20,000	支部長会、理事会、専門部会等
2 事 務 費	754,000	764,000	△ 10,000	
(1) 通信・運搬費	280,000	280,000	0	郵便料、会報送料等
(2) 印刷・消耗品費	260,000	270,000	△ 10,000	諸印刷、用紙、封筒等
(3) 事務手当	184,000	184,000	0	手当、謝礼
(4) 事務所費	30,000	30,000	0	事務所諸費
3 事 業 費	2,956,000	3,346,900	△ 390,900	
(1) 会報発行費	940,000	940,000	0	会報印刷代、ホームページ等
(2) 美術展費	0	90,000	△ 90,000	
(3) 研修費	996,000	996,900	△ 900	10支部 (300円×3,320人)
(4) 教育推進費	120,000	120,000	0	支部別推進協議会・総会等
(5) 講演会費	300,000	500,000	△ 200,000	講師謝礼、食料費等
(6) 旅 費	600,000	700,000	△ 100,000	事業旅費、役員旅費等
4 負 担 金	1,557,200	1,561,200	△ 4,000	
(1) 全連退負担金	1,497,200	1,501,200	△ 4,000	400円×3,743人 (長寿会員を含む)
(2) 関プロ負担金	60,000	60,000	0	参加費 (20,000×3人)
5 特 別 積 立 金	300,000	300,000	0	会員名簿等
6 慶 弔 費	1,200,000	1,200,000	0	米寿 (寿詞)、香典
7 関プロ大会準備	600,000	300,000	300,000	関プロ埼玉大会準備積立
8 予 備 費	1,313,100	199,365	1,113,735	
9 事務局使用料	264,000	0	264,000	1ヶ月 22,000×12ヵ月分
計	10,244,300	9,241,465	1,002,835	

令和3年度 役員名簿

(令和3年6月4日現在)

顧問	栗原喜一郎	清水 章夫		
会長	石田 孝作			
副会長	加々美健一(研) 濱野 紀生(福)	神山 則幸(研) 栗田 憲昭(広)	比留間英雄(広) 関口 良子(福)	新井 俊一(広) 稲葉 昭一
監事	村本 洋	大嶋 伸之	山口喜一郎	
支部(理事数)	◎支部長			
さいたま市(14)	◎加々美健一 稲井 利雄 大木 繁司(福) 佐藤 憲克(研)	金子 敏夫 桑原 裕通(会) 井上 馨 秋元千代子(研・女)	松下 道夫 丸山 雅夫 佐藤 博志	野口 英世(広) 藍川 達雄 新里 孝二
北足立南(12)	◎神山 則幸 小濱 治人(会) 関口 憲二	南 勇 森山 征夫 中村 文夫(研)	加藤 行雄 佐藤 誠造(福) 柿崎 勲	和田 悦男 羽富 正晃(広) 小川 廣徳
北足立北(6)	◎秋池 功 青木 一弥(広・H)	井関由美夫(福) 海野 正(会)	町田 哲夫(研)	高橋 俊男
入間(19)	◎比留間英雄 須ヶ間 章 佐藤 信弘 佐々木正憲 小野 順司	柳 榮治 廣澤 和夫 吉本 祐一 熊本美智子(広) 高橋好次郎	吉武 覚(福) 加藤 匡代 富士池長雄(研) 新井 周平 湊 貞一	久田 紘治 羽田 禮子(会) 浅見 登 渡邊 俊雄
比企(8)	◎岡部 巖 宮澤 一浩(研)	千装 公明 神山 晴光(会)	大塚 基司 藤田 武(広・H)	奥泉 雅之(福) 富田三千彦
秩父(6)	◎木村 英一 江田 光男(会)	堀口 芳嗣(研) 黒田 富衛	三橋 恒夫(福)	池田 久男(広・H)
児玉(6)	◎下山 彰夫 福島 彰	高橋 八夫(研) 浅見 榮(会)	小峰 義明(広・H)	新井美也子(福)
大里(10)	◎内田 眞弘 大岡 由男 小林 晃一(福)	吉岡 正己 鶴間 信好 渡邊 雄市(広・H)	植竹 豊 小林 正俊(会)	吉田 芳雄 瀧澤 繁雄(研)
北埼玉(9)	◎川俣 守男 高田 一(広・H) 奥泉 雄一	富田 政博 柳原 功(研)	武正 和己 栗田 昭一(福)	荒木 直人(会) 加藤 茂高
埼玉葛(15)	◎濱野 紀生 桐川 弘子 佐藤 順一(広・H) 山田 陽一	小保方敏美 生方 康之 山下 浩(福) 大塚 和彦(会)	橋本 久雄 永尾 勝義 野口 淳一 九里 幸子(広・女)	小島 廣司 小須田 優 小澤 勇(研)
事務局	事務局長 幹 事	稲葉 昭一 野本キミ子 内田 雅寛 山崎 俊 眞嶋 廣久 加藤 美幸	川野 勉 高取 廣美 鈴木 光二 小林 俊雄	羽島 隆夫 足助 啓子 小島 健司 荻田 哲男

※(研)…研究部 (福)…福利厚生部 (広)…広報部 (会)…庶務会計部 (H)…HP担当
(女)…女性校長会推薦

「彩の国教育の日」協賛 現職・退職校長支部別教育推進協議会

令和2年度

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度の秋に開催予定の教育推進協議会が、10支部全て中止になりました。発表は、紙上発表としましたので、詳細については「県会報」第171号を参照して下さい。

支 部	開催予定の期日	研 究 発 表 主 題 (◇現職校長 *退職校長)
さいたま市	11月6日(金)	◇「これからの学校を担うリーダーの育成」 ～確かな展望をもち行動できるミドルリーダーの育成～ ◇「ネットトラブルに関する現状と課題について」 *「囲碁に生きる」～退職後30年の記録～
北足立南部	11月19日(木)	◇「コロナ禍における本校の学校経営について」 ◇「自利利他を目指す学校経営」～仕掛けを意識した実践～ *「大貫海浜学園の現状と課題」
北足立北部	10月30日(金)	◇「保護者・地域に愛され、信頼される安心・安全な学校づくりの推進」 ◇「教育支援組織の活性化」 ～不登校生徒への細やかな支援を目指して～ *「今、改めて、『スキル教育』」
入 間	11月10日(火)	◇「生徒が活躍し続ける学校づくり」 ◇「私の学校経営」 *「交流サロンは私の生きがい」
比 企	11月10日(火)	◇「道徳教育を中核に据えた学校教育の推進」 *「植物の生きざまに魅せられて」～秋の植物名の由来のこと～
秩 父	10月8日(木)	◇「ふるさとを愛し自分を見つめ、よりよく生きようとする心豊かな児童の育成」～考え、議論する道徳科の授業を通して～
児 玉	11月19日(木)	◇「学校における働き方改革の推進」 ◇「美里中学校の教育実践」 ～これまでと新型コロナウイルス感染防止に配慮した今年度の取組～
大 里	11月10日(火)	◇「新型コロナウイルス禍における学校経営」 ～リスクマネジメントと新時代への対応～ *「退職後、学ぶことのみ多かりき」
北 埼 玉	11月19日(木)	◇「学校ビジョンの実現に向けた組織の編成と円滑な運営に関する提言」 ～子どもと向き合う時間を生み出す組織の編成と運営の工夫～
埼 葛	11月21日(土)	紙上発表の利点も考えたが、学校現場の状況を考えると現職者の負担が大きいと判断し「次年度に延期する」と決定した。(令和3年度に発表)